遺言書書式（相続分の指定）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  | 遺 言 書 |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 　私は、この遺言書を書くに当たり、今まで楽しく生活をさせてもらった皆に感謝したい。この遺言書では、次のようなことを考え遺言をしたので、遺産を分割するについても、十分考慮してもらいたい。　長男は、妻と同居を継続し、妻の今後の生活の面倒を見てもらいたい。　長女は、現在持ち家を持ち、子供に恵まれているが、この相続分を子供たちの将来のためにも使ってほしい。　次男は、大学卒業後イギリスに留学し、その費用を出してあげたこともあり、現在の仕事も順調のようであり、仕事と家庭に十分頑張ってもらいたい。　私は、相続人の相続分を次のとおりに定める。１　妻Ａは、相続財産の10分の４２　長男Ｂは、相続財産の10分の３３　長女Ｃは、相続財産の10分の２４　次男Ｄは、相続財産の10分の１平成○年○月○日遺言者　　　〇〇　〇〇　㊞ |  |
|  |  |  |